

INSPIRE No.15

イベント

第15回GSGミーティング

日時：4月24日（日）

時間：13:00 - 16:00

場所：スクエア荏原

（武蔵小山駅徒歩10分）

東京都品川区荏原4-5-28

対象：保護者・教育者

費用：5,000円

テーマ：第3回ギフティッド教育カンファレンス2016についてお話しながら、ギフティッドの子育てについて話します。

申し込み：office@jagifted.org

日本ギフティッド協会事務局



「子供に昔話をしない」どんな先生がギフティッドにあっていくかという問いに、まず最初に思い浮かぶ答えはこれだろう。大人も常に新しい事にチャレンジをしていて、情熱を探究していて、そこでの苦労や葛藤、そして、喜びを子供たちの共有している事が重要である。特にギフティッドの子供たちは快適ゾーンの小さい子が多いので、 PUSHする側もしっかりと快適ゾーンを広げている活動をし、新しい自分に巡り合えていなくてはならない。そこにはMutual Respectという尊い人間関係を築かなくてはならないからである。

お知らせ

第3回ギフティッド教育カンファレンス2016

5月28日・29日 第3回ギフティッド教育カンファレンス
@ スクエア荏原 jag2016.peatix.com

サマーキャンプ(8月上旬)

今回はアメリカ人の大学生がギフティッドの子供たちの為にサマーキャンプを計画しています。詳細は4月にアナウンスします。

ギフティッドアドボケイター養成コース

2016年秋に開講！保護者・教師のためのギフティッド講座が始まります。詳細は4月にアナウンスいたします。



宝くじ

おめでとうございます！あなたのお子様をお調べしたところ、わずか2%の人間しか手にすることの出来ない、珍しい宝くじに見事当選していました！

当選上のご注意

この宝くじは、普通の宝くじとは少し異なり、当選上のご注意が必要です。下記を十分お読みになった上、必ずお守り下さい。

- ①何年でも大切にお取り扱い下さい。
- ②換金可能時期は、何年後になるかは分かりません。
- ③必ず換金可能とは限りません。
- ④保管途中、ヨゴレ・ほつれ破損の場合、換金はまだ可能です。早急に修繕の対応をして下さい。
- ⑤完全破損の場合、換金はほぼ不可能です。
- ⑥普通のお子様の保護者に話すことは、十分注意をして下さい。
- ⑦換金可能にするためには、理解ある親になる事や良きアドボケイターが必要です。
- ⑧換金2倍以上の増額も可能です。挑戦体験や冒険体験をさせて賭けてみて下さい。

「えーっ、わが子がレアなギフトッドなんて、すごく嬉しい！」

・・・なんて思う親はひとりもないはず。でもね、宝くじ当選と思えば誰もが欲しいし、超ラッキー！夢はどんどん膨らむよね？ 今日もあるこれと妄想する母なのであった。

gifted newsletter no. 15

学級崩壊はなぜ起きるか？（前半）

去年私の小学六年の娘の学級が学級崩壊になりました。今まで様々な小中学校を訪問し、授業を観察し教師に助言をしてきました。その経験を生かし担任の相談に乗り、私自身がその学級で「自尊心を高める授業」を行いました。しかし、一度学級崩壊になったら、子ども全員がその学級で生き抜くための演技をしているので、今更元に戻すことはできません。今回その経験を基に皆さんにお話します。

学級を教師一人でまとめることは不可能です。学級崩壊は担任の力不足と考える人が多いですが、去年の娘の担任は、その学校ではエース級の先生でした。学級は教師と子どもたちのお互いの協力によってまとめることができます。だから、学級崩壊には教師と子どもの両方にその要因があります。

まず教師というより学校側の要因です。様々な学校を見て感じるのが、教師は子どもたちに課題を与え、それを達成できる子は「良い子」、達成出来ない子は「問題のある子」と見ています。また授業よりも行事を重要視している学校が増えています。まるでショーのような運動会、学芸会、卒業式等の課題を達成できるかどうかで評価されるのです。私はそんな子どもが達成できるかで評価する学校は嫌いですが、見た目は素晴らしいのでその方が良いと考える親の方が多数派です。子どもたちはその風潮に対して無意識に反発しているのではないのでしょうか。

次に子どもたちの要因です。現代は「苦痛と危険はゼロが良い」という風潮なので、何でも他人委せで、親も子どもも自ら苦痛と危険を乗り越えようという意識が低くなっています。授業がつまらなかつたら全く聞かない、いじめがあったら先生に解決してもらおう、ちょっとでも教師に苦痛を与えられたら親子で苦情を言う等です。そのため、学級としてまとめるための努力を全くしない子どもが増えています。

では、学級崩壊を防ぐにはどうしたら良いのでしょうか。私なりの結論を次回お話ししたいと思います。

-すくすくクリニック 新井



**絶賛発売中！『子どもの気持ちがわかる
ママの心が楽になる子育て心理戦』**

日本ギフトッド協会が主催する初めてのギフトッドサマーキャンプのお知らせです。
そのタイトルは「旅する人形劇団~夏季限定」！！！！！！

ギフトッド教育を受けたアメリカ大学生のブリアーンさんが企画。今はコロンビア大学で自分の情熱に猛進中。一昨年、来日した時にギフトッドユース★スピークアップという場でギフトッドについて話してから、ずっと日本のギフトッドの子供たちと活動したいと熱望。この間、「日本でギフトッドのサマーキャンプやりたい！」と連絡がきた。私は「やってみたらいいさ」と即答。まずは、「なぜサマーキャンプを開催するか」について話し合った。そして、「なぜ、ギフトッドの子供たちが対象なのか」「小学生の子供を対象にしたい」と話すと、「ギフトッドの恐怖」について語りだした。特にギフトッドの子供たちが小学校で湧き上がる感情。

それは「Boredom~退屈感」

ギフトッドの子供たちにとって、これ以上の恐怖はない。

ほとんどの場合、学校で「意味と意義」が見いだせない事をしなくてはならない。ここで間違えてもらいたくないのは、退屈しているギフトッドの子供たちがクラス内で行われている授業を全部理解し、マスターしているわけではないという事。自分の興味のない分野かもしれないし、苦手な分野かもしれない。もしかしたら、学びへの情熱の灯火が消えかかっているのかもしれない。しかし、湧き上がってくるのは学びへの情熱ではなく、退屈感の場合が多い。

ギフトッドの子供たちはどうやって「退屈感」と向き合っているのだろうか。もしかしたら、素晴らしい想像力を駆使して空想にふけているかもしれない。抑えきれないエネルギーのせいで、立ち歩いて、クラス内の面白いものを探しているかもしれない。マシンガントークで、先生に質問を投げつけているかもしれない。

世の中、面白い事は山ほどある。面白い事は創造できる。ただ、枠の外の思考や活動が制限される学校現場では、何をしても意味がないものと感じてしまうかもしれない。そういったギフトッドの子供たちは自らの知的好奇心を探究する事になれていないので、与えられるのを「つまらない」と、待つ事に慣れていくのかもしれない。0から1を作り出すのに恐怖を覚えるかもしれない。まだ未知の領域へのチャレンジかもしれないから失敗への恐怖があるのかもしれない。

そういった事を普段感じているギフトッドの子供たちに私たちは、「思う存分にユース時代を楽しんでもらいたい！！』」と思い、ギフトッドサマーキャンプを開催したい。ここで会う子供たちはきっとこのサマーキャンプ外でもつながっていく事だろう。

まったくどうなるかわからないが、ワクワク感はハンパない。

そこで夏季限定劇団員（サマーキャンパー）募集です。

定員：先着10名

年齢：8歳から15歳まで

期間：8月3日から8月7日

活動場所：東京近辺

参加費用：95,000円

詳細はoffice@jagifted.org サマーキャンプ事務局までお問い合わせくださいませ。

